

紡織・北國が1敗をキープ

~第34回日本ハンドボールリーグ・第7週~

第34回日本ハンドボールリーグ第7週は、10月24、25日に愛知、広島などで男子4試合、女子3試合が行われた。男子は試合のなかった首位・大同特殊鋼を追うチームの動向が焦点となり、1敗で大同を追っていたトヨタ紡織九州が豊田合成に快勝して1敗をキープしたのに対し、大崎電気は湧永製薬に押し切られ初黒星を喫して明暗を分けた。上位3強の直接対決もあった女子は、前週、今シーズン初黒星を喫した北國銀行がしっかりと気持ちを切り替え、広島メイプルレッズを突き放して、1敗を堅持。前週、その北國を倒したソニー・セミコンダクタ九州は2敗で追うオムロンに21-36とよもやの15点差をつけられ2敗目。踏みとどまつたオムロンも含め、3強の争いは熾烈さを増している。

男子の実力派同士の激突となった湧永-大崎戦は、大崎のミスにつけ込んだ湧永が開始5分過ぎからの4連続得点で先行。大崎もディフェンスシステムを4:2に変えて湧永に搖さぶりをかけたが、湧永はGK・松村の好守もあって試合の流れを手放さない。後半は守りの安定をベースにリードを最大9点まで広げた湧永が28-21で大崎を下し、今シーズン3勝目をマークした。

合成-紡織戦は、前半8分、4-4と互角の滑り出しから、合成のミスを速攻につなげた紡織が3連打、4連打とたたみかけ、14分、11-5と抜け出すると、試合は一気に紡織ペースに。後半、反撃の糸口を見出そうとする合成に対し、紡織は持ち前の足を活かしたディフェンスからの速攻でさらに加速。大量40得点をマークし合成を圧倒した紡織が4勝目をあげ、首位・大同に次ぐ2番手をキープした。

女子は前週、北國の全勝を止め、意気上がるソニーが熊本でオムロンと対戦。開始10分過ぎまで一進一退の攻防が続いた後、城内、高田の連続速攻などで抜け出したオムロンが、手堅いディフェンスから着実に得点につなげてリードを広げる展開に持ち込み、21-11と予想外の大差をつけて前半を終えた。後半、ソニーは郭、高橋を軸に巻き返しを図ったものの、充実感あふれるオムロンの前に、点差を詰めるどころか逆に広げられ、オムロンのリードは最大18点まで開いた。9月6日、開幕戦での敗戦の教訓もしっかりと活かしたオムロンが勢い十分のソニーを打倒、2敗を守って首位争いに踏みとどまつた。

前週、ソニーに開幕からの連勝を止められた北國は、広島の挑戦を受けた。前半、北國は3:2:1システムの高いディフェンスでプレッシャーをかけてくる広島の粘りに苦しみ、17分、7-8と広島に先行を許す場面もあったが、弱気にならず広島ディフェンスをカットインで割って入り、前半を13-9とリード。後半、宮前、野路、若松で3連取スタートして優位を不動にした北國は、エース植垣のロングシュートを軸とする広島の反撃もしっかりと食い止め、31-22と9点差をつけて危なげなく6勝目をゲット、再び単独トップに立った。なお、この試合で広島・植垣が

(2ページに続く)



①上位戦線に踏みとどまつた湧永製薬・今井
②ソニー・セミコンダクタ九州にリベンジを果たしたオムロン・東濱

第8週の日程

10月31日(土)	福井	北陸電力福井体育館フレア(えちぜん鉄道「観音町」下車徒歩5分)	15:30~	(男)	北 陸 電 力 × 豊 田 合 成
11月 1日(日)	山梨	甲州市塩山体育館 (JR中央本線塩山駅車15分)	15:00~	(男)	琉 球 コ ラ ソ ン × 大 同 特 殊 鋼
	石川	小松総合体育館 (JR北陸本線小松駅徒歩20分)	13:00~	(女)	北 國 銀 行 × 三 重 バ イオ レット ア イ リス
	佐賀	神埼中央公園体育館 (JR長崎本線神埼駅徒歩5分)	13:00~	(女)	ソニー・セミコンダクタ九州 × H C 名 古 屋
	熊本	人吉スポーツパレス(JR肥薩線人吉駅車5分)	15:00~	(男)	ト ヨ タ 紡 織 九 州 × 大 崎 電 気
			14:00~	(女)	オ ム ロ ン × 広 島 メ イ プ ル レ ッ ツ

連戦の琉球コラソンが初勝利を飾る

24日、知立市での男子・トヨタ車体-琉球コラソンは、前半15-12と3点リードで折り返した車体が高いディフェンスシフトをしく琉球の積極的な守りに苦しみながらもG K坪根の好セーブでピンチをしのぎ、後半22分、琉球・水野裕紀が退場した間に藤田、北出で加点して引き離しにかかった。琉球も内山、久高らの奮戦で最後まで集中力を切らさず、スカイブレーを決めるなどで車体を苦しめたが、結局は30-27で車体が逃げ切った。

女子は三重バイオレットアイリスがH C名古屋に順当勝ちした。この試合、フットワークを活かしたディフェンスから相手のミスを誘った三重が、星野、伊藤のミドルシュートなどで加点して主導権を握ると、その後も終始優位に試合を進めた。後半も三重は北村のループシュートなどで5連取してさらに加速。名古屋はG K近藤の好セーブや菅谷の史上10人目となる通算500得点などで奮戦するが力及ばなかった。

翌25日、福井で行われた北陸電力-琉球戦は、前日に続く連戦となった琉球が初勝利をマークした。前半、琉球の3:2:1ディフェンスを攻めあぐねる北電に対し、琉球は相手ミスを速攻につなげて15-10と5点リードでUターン。後半、追い上げたい北電はさかんにポジションを変化させてボストを使うが、シュートに精度を欠いて得点が伸びない。対する琉球はカットインやサイドからノーマークを作り、東、志慶真らで加点して16分26-17とリードを広げ、終盤の北電の反撃をかわして33-29で白星を握った。

次週は福井などで男女各3試合が行われ、男子ではトヨタ紡織九州-大崎電気の上位争いに注目、女子は“上位3強”が下位チームの挑戦を受ける。

◆ 10月24日(土) 男子 愛知・豊田合成(株)健康管理センター

トヨタ紡織 40 (16-9) 21 豊田合成
九州 24-12 0勝2分4敗
4勝1分1敗

<1/4>	K 松 野	榎 原	0/ 1
3/ 5	中 畠	原	1/ 1
2/ 2	西 端	黒 木	0/ 1
6/ 7	村 上 直	大 橋	0/ 0
1/ 2	松 信	桶 谷	3/ 5
1/1 13/15	村 上 秀	中 島	4/ 8
2/ 3	吳 相 民	森 光	3/ 7 3/3
1/ 2	佐 久 間	藤 田	K <1/3>
0/ 0	鶴 田	今 村	2/ 9 0/1
3/ 4	海 道	中 村	3/ 5
1/ 2	阪 芳 仲	芳 仲	2/ 6
K 谷 川	藤 堂	K	<0/4>
4/5 2/ 5	藤 山	米 本	0/ 1
1/1 0/ 2	石 黒	島 中	0/ 0

6/7 34/49 9(FPP)7 18/44 3/4
審判(福田・富田) 観客 416人

◆ 10月24日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター

北國銀行 31 (13-9) 22 広島メイプル
レッズ
6勝0分1敗 18-13 2勝0分5敗

<1/4>	K 寺 田	堂 面	K <0/1>
0/ 0	鰐 場	土 屋	3/ 3
0/1 5/ 8	上 町	村 山	1/ 5
4/ 8	宮 前	河 田	1/ 1
0/ 0	佐 久 川	大 前	0/ 0
0/ 0	川 井	植 垣	6/ 9 3/4
3/ 4	中 村	李	1/ 2
5/ 7	横 嶋	栗 本	0/ 4
5/ 7	野 路 良	伊 藤	0/ 2
K	田 代	五 月 女	2/ 8
3/3 1/ 3	仲 宗 根	横 田	K <1/3>
0/ 0	井 上	安 齋	0/ 0
1/ 1	八 十 島	石 山	0/ 0
4/ 5	若 松	新 城	5/ 5

3/4 28/43 7(FPP)7 19/39 3/4
審判(家永・福島) 観客 715人

◆ 10月24日(土) 女子 愛知・知立市福祉体育館

三重バ イオレッ トアイリス 31 (14-6) 16 H C名古屋
3勝0分4敗 17-10 0勝0分7敗

◆ 10月24日(土) 男子 愛知・知立市福祉体育館

トヨタ車体 30 (15-12) 27 琉球
4勝0分3敗 15-15 0勝1分3敗

◆ 10月24日(土) 女子 広島・東区スポーツセンター

北國銀行 31 (13-9) 22 広島メイプル
レッズ
6勝0分1敗 18-13 2勝0分5敗

<1/4>	K 戸 戸	久 高	1/ 2
0/ 0	佐 々 木	村 山	4/10 2/3
2/ 6	高 智	水 野 矢	0/ 1
0/ 0	安 藤	東	3/ 9
4/ 6	藤 田	玉 城	0/ 0
0/ 0	高 木	池 田	0/ 2
2/ 6	北 出	志 慶 真	6/ 9 0/1
0/ 0	小 沢	内 田	K <0/1>
2/ 2	鶴 谷	内 山	4/ 5
2/ 2	鶴 谷	田 場	0/ 0
K	坪 根	高 田	4/ 7
4/ 8	崎 前	石 田	K <0/2>
3/3 2/ 3	銘 莜	水 野 紀	3/ 8
11/15	門 山		

3/3 27/46 11(FPP)7 25/53 2/4
審判(多田・中館) 観客 862人

◆ 10月24日(土) 男子 広島・東区スポーツセンター

涌永製薬 28 (15-11) 21 大崎電気
3勝0分2敗 13-10 3勝1分1敗

◆ 10月24日(土) 女子 熊本・熊本県立総合体育館

オムロン 36 (21-11) 21 ソニーセミコンダクタ
クタ九州
5勝0分2敗 15-10 5勝0分2敗

<1/3>	K 勝 田	中 島	K <1/3>
3/ 5	城 内	郭 恵 静	7/18
2/ 5	高 田	長 野	3/ 8
1/ 1	巻 高	橋 0/ 2	2/3
2/ 3	市 村	田 中	3/ 3
4/5	藤 井	山 田	0/ 1
0/ 3	石 立	工 藤	2/ 6 1/1
3/ 5	坂 元	儀 間	0/ 2
8/13	洪 廷 吾	高 栖	3/ 3
2/ 2	勝 連	黒 木	0/ 2
1/ 2	吉 田	吉 田 薫	K <0/4>
2/ 2	永 田	飛 田	K
2/ 2	東 月	佐 師	0/ 0
4/10	長 島	飯 田	0/ 0

6/7 30/60 8(FPP)7 18/45 3/4
審判(金子・児玉) 観客 1627人

◆ 10月25日(日) 男子 福井・北陸電力福井体育館フレア

琉球 コラソン 33 (15-10) 29 北陸電力
1勝1分3敗 18-19 0勝1分6敗

2/ 2	久 高	高 橋	7/11
1/2 4/ 6	村 山	神 田	8/12
4/ 5	水 野 矢	落 合	3/ 7 1/1
1/1 5/ 9	東	桜 井	1/ 2 0/1
1/ 1	玉 城	高 田	4/ 6
0/ 0	池 田	杉 山	1/ 2 1/1
3/ 7	志 慶 真	大 谷	0/ 1
K	内 田	表	0/ 0
3/ 3	内 山	山 原	1/ 3
0/ 0	田 場	松 岡	2/ 2
4/ 7	高 田	丸 山	K <0/1>
<1/3>	石 田	石 塚	0/ 1
5/ 7	水 野 紀	石 櫛	0/ 0
5/ 7	水 野 紀	有 江	K <1/2>

1/2 27/56 5(FPP)5 21/48 0/0
審判(黒木龍・黒木秀) 観客 728人

2/3 31/47 24(FPP)16 27/47 2/3
審判(藤井・大熨) 観客 360人

男女個人賞レース 第7週終了

《男子》

《女子》

得点王

1	門山 哲也	(トヨタ車体)	50 点	(7試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	66 点	(7試合)
2	神田 友和	(北陸電力)	42 点	(7試合)	2	郭 晃惠	(ソニ一)	49 点	(7試合)
3	末松 誠	(大同特殊鋼)	38 点	(5試合)	3	植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	48 点	(7試合)
4	豊田 賢治	(大崎電気)	37 点	(5試合)	4	横嶋かおる	(北國銀行)	42 点	(7試合)
5	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	35 点	(6試合)	5	藤井 紫緒	(オムロン)	41 点	(5試合)
6	銘苅 淳	(トヨタ車体)	33 点	(7試合)	6	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	40 点	(7試合)
7	村山 裕次	(琉球コラソン)	30 点	(5試合)	7	高橋 恵	(ソニ一)	39 点	(7試合)
8	落合 信也	(北陸電力)	29 点	(7試合)	8	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	32 点	(7試合)
9	今村 彰伸	(豊田合成)	27 点	(6試合)	9	高栖 由香	(ソニ一)	31 点	(7試合)
10	東長濱秀作	(湧永製薬)	26 点	(5試合)	10	洪 廷昊	(オムロン)	29 点	(7試合)
11	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	26 点	(6試合)	11	若松 里佳	(北國銀行)	28 点	(7試合)
12	坂本 伸博	(湧永製薬)	25 点	(5試合)	12	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	28 点	(7試合)
13	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	25 点	(5試合)	13	工藤 麻衣	(ソニ一)	27 点	(7試合)
14	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	25 点	(6試合)	14	高田 裕梨	(オムロン)	26 点	(7試合)
15	小澤 広太	(大崎電気)	24 点	(5試合)	15	仲宗根 彩	(北國銀行)	25 点	(7試合)
15	志慶真龍我	(琉球コラソン)	24 点	(5試合)					
15	高智 海吏	(トヨタ車体)	24 点	(7試合)					

フィールド得点賞

1	門山 哲也	(トヨタ車体)	50 点	(7試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	49 点	(7試合)
2	神田 友和	(北陸電力)	42 点	(7試合)	2	郭 晃惠	(ソニ一)	49 点	(7試合)
3	中畠 嘉之	(トヨタ紡織九州)	35 点	(6試合)	3	横嶋かおる	(北國銀行)	42 点	(7試合)
4	末松 誠	(大同特殊鋼)	34 点	(5試合)	4	植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	36 点	(7試合)
4	豊田 賢治	(大崎電気)	34 点	(5試合)	5	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	32 点	(7試合)
6	今村 彰伸	(豊田合成)	27 点	(6試合)	6	高栖 由香	(ソニ一)	31 点	(7試合)
7	落合 信也	(北陸電力)	26 点	(7試合)	7	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	31 点	(7試合)
7	吳 相民	(トヨタ紡織九州)	26 点	(6試合)	8	高橋 恵	(ソニ一)	30 点	(7試合)
9	坂本 伸博	(湧永製薬)	25 点	(5試合)	9	洪 廷昊	(オムロン)	29 点	(7試合)
10	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	24 点	(5試合)	10	若松 里佳	(北國銀行)	28 点	(7試合)
10	小澤 広太	(大崎電気)	24 点	(5試合)	10	藤井 紫緒	(オムロン)	28 点	(5試合)

シート率賞 (フィールド得点ベスト10を対象)

1	坂本 伸博	(湧永製薬)	25点/ 38射 0.658	1	高栖 由香	(ソニ一)	31点/ 35射 0.886
2	末松 誠	(大同特殊鋼)	34点/ 52射 0.654	2	横嶋かおる	(北國銀行)	42点/ 54射 0.778
2	豊田 賢治	(大崎電気)	34点/ 52射 0.654	3	上町 史織	(北國銀行)	49点/ 77射 0.636
4	村上 秀行	(トヨタ紡織九州)	24点/ 40射 0.600	4	桂 裕美子	(バイオレットアイリス)	32点/ 52射 0.615
5	小澤 広太	(大崎電気)	24点/ 41射 0.585	5	若松 里佳	(北國銀行)	28点/ 47射 0.596

7mスロー得点賞

1	銘苅 淳	(トヨタ車体)	14 点	(7試合)	1	上町 史織	(北國銀行)	17 点	(7試合)
2	藤山 岳士	(トヨタ紡織九州)	11 点	(6試合)	2	藤井 紫緒	(オムロン)	13 点	(5試合)
2	村山 裕次	(琉球コラソン)	11 点	(5試合)	3	植垣 晓恵	(メイプルレッズ)	12 点	(7試合)
4	森光 勇太	(豊田合成)	8 点	(6試合)	4	菅谷 美奈	(H C 名古屋)	11 点	(7試合)
5	東長濱秀作	(湧永製薬)	7 点	(5試合)	5	伊藤亜衣美	(バイオレットアイリス)	9 点	(7試合)
					5	高橋 恵	(ソニ一)	9 点	(7試合)

7mスロー阻止率賞 (7mスローを受けた数が、チームの試合数以上のGKが対象)

1	東 佑三	(大崎電気)	4本/ 6射 0.667	1	家城 千香	(H C 名古屋)	7本/ 16射 0.438
2	坪根 敏宏	(トヨタ車体)	7本/ 11射 0.636	2	勝田 祥子	(オムロン)	5本/ 12射 0.417
3	田平龍太郎	(トヨタ車体)	3本/ 7射 0.429	3	近藤 澄江	(H C 名古屋)	5本/ 15射 0.333
4	東 直明	(大同特殊鋼)	2本/ 5射 0.400	3	堂面 妙子	(メイプルレッズ)	4本/ 12射 0.333
5	藤田 東吾	(豊田合成)	3本/ 9射 0.333	5	横田智恵美	(メイプルレッズ)	4本/ 14射 0.286
				5	毛利 久美	(バイオレットアイリス)	4本/ 14射 0.286

第34回日本ハンドボールリーグ成績表

第7週終了 10月25日

順位	男子	大同特殊鋼	トヨタ紡織九州	トヨタ車体	大崎電気	湧永製薬	琉球コラソン	豊田合成	北陸電力	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	大同特殊鋼		35 ○ 29	30 ○ 23		32 ○ 26		48 ○ 24	36 ○ 23	5	5	0	0	10	181	125	56
2	トヨタ紡織九州	29 ● 35		28 ○ 27	30 △ 30		36 ○ 28	40 ○ 21	30 ○ 23	6	4	1	1	9	193	164	29
3	トヨタ車体	23 ● 30	27 ● 28		25 ● 36	32 ○ 30	33 30 ○ ○ 23 27		28 ○ 17	7	4	0	3	8	198	191	7
4	大崎電気		30 △ 30	36 ○ 25		21 ● 28		43 ○ 18	28 ○ 24	5	3	1	1	7	158	125	33
5	湧永製薬	26 ● 32		30 ● 32	28 ○ 21			39 ○ 23	35 ○ 17	5	3	0	2	6	158	125	33
6	琉球コラソン		28 ● 36	23 27 ● ● 33 30				22 △ 22	33 ○ 29	5	1	1	3	3	133	150	-17
7	豊田合成	24 ● 48	21 ● 40		18 ● 43	23 ● 39	22 △ 22		22 △ 22	6	0	2	4	2	130	214	-84
8	北陸電力	23 ● 36	23 ● 30	17 ● 28	24 ● 28	17 ● 35	29 ● 33	22 △ 22		7	0	1	6	1	155	212	-57

順位	女子	北國銀行	オムロン	ソニーセミコンダクタ九州	三重バイオレットアイリス	広島メイプルレッズ	HC名古屋	試合数	勝数	引分数	敗数	勝点	総得点	総失点	差
1	北國銀行		30 ○ 25	33 23 ○ ● 27 31	29 ○ 21	34 31 ○ ○ 28 22	37 ○ 16	7	6	0	1	12	217	170	47
2	オムロン	25 ● 30		27 36 ● ○ 28 21	23 ○ 16	33 ○ 17	40 37 ○ ○ 11 14	7	5	0	2	10	221	137	84
3	ソニーセミコンダクタ九州	27 31 ● ○ 33 23	28 21 ○ ● 27 36		32 ○ 20	45 ○ 26	42 ○ 15	7	5	0	2	10	226	180	46
4	三重バイオレットアイリス	21 ● 29	16 ● 23	20 ● 32		27 21 ● ○ 28 15	30 31 ○ ○ 15 16	7	3	0	4	6	166	158	8
5	広島メイプルレッズ	28 22 ● ● 34 31	17 ● 33	26 ● 45	28 15 ○ ● 27 21		36 ○ 20	7	2	0	5	4	172	211	-39
6	HC名古屋	16 ● 37	11 14 ● ● 40 37	15 ● 42	15 16 ● ● 30 31	20 ● 36		7	0	0	7	0	107	253	-146

※この星取り表は、シーズン途中は試合数に関係なく、仮の順位で並び替えてあります。

同勝点の場合は、1. 対戦間勝点 2. 対戦間得失点差 3. 総得失点差 4. 総得点 の多い順で順位付けしています。